

第九回牡丹焚火俳句会当日句の部 入選句

佳作	佳作	佳作	佳作	佳作	秀逸	秀逸	秀逸	人	地	天	賞 番号	
38	25	23	5	2	19	8	1	7	47	4		
天空へ炎の一字牡丹焚く	奥州の闇へ千花の牡丹焚く	無辺なる闇の借景牡丹焚く	舞ふごとくつぶやくごとく牡丹焚く	振り向けば牡丹供養の空焦がす	牡丹焚炎は宙の仏陀なり	集ひ来て牡丹焚火や一揆の地	牡丹焚く宙に白衣の天女の手	標なき空へと還る牡丹焚き	牡丹焚燠に蝦夷の気骨あり	唳りやうとぼたん供養の祝詞かな	作品集	伊勢田あきを先生選
一関市	登米市	平泉町	一関市	登米市	奥州市	一関市	登米市	一関市	登米市	一関市	住所	
千葉百代	及川奈奈夫	鈴木信	鈴木道昭	伊藤勝	高橋洋子	石川恵子	伊藤勝	石川恵子	高橋武比古	稲玉宇平	氏名	

第九回牡丹焚火俳句会当日句の部 入選句

高橋みさ男先生選

作品集

佳作	佳作	佳作	佳作	佳作	秀逸	秀逸	秀逸	人	地	天	賞 番号	
45	27	19	13	12	24	5	1	33	47	38		
火の精の舞ひて鎮もる牡丹焚	野舞台の夕日差し込む冬の園	牡丹焚炎は宙の仏陀なり	花王なるプライドありて牡丹焚く	いのち尽く牡丹焚火の終りの火	神の言まとひ牡丹の焚かれけり	舞ふごとくつぶやくごとく牡丹焚く	牡丹焚く宙に白衣の天女の手	みちのくに老いもときめく牡丹焚	牡丹焚燠に蝦夷の気骨あり	天空へ炎の一字牡丹焚く		
一関市	一関市	奥州市	一関市	登米市	平泉町	一関市	登米市	一関市	登米市	一関市	住所	
沖田誠子	三浦寿子	高橋洋子	野村ときえ	伊藤桂子	鈴木信	鈴木道昭	伊藤勝	桂田一穂	高橋武比古	千葉百代	氏名	